

軟白長ねぎ

担当者 技能研究員 泉谷 雅俊

試験課題名	品種系統選定試験
目的	本町に適した多収・高品質・良食味の品種を選定し、生産者への普及に資する
期待される成果	地域適合複合栽培による高品質生産並びに労働生産性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会長ねぎ部会

1 供試品種・資材

品種

※元蔵（武蔵野種苗） 白妙（渡辺採種場） 金長3号（ホクレン）
北の匠（タキイ種苗）

※基準品種

2 耕種概要

土質～埴壤土

前作～スイートコーン

播種日～3月30日 定植日～5月23日 収穫日～9月28日

栽植密度～畦幅80cm×株間5cm 2,500株/a当たり

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
5.5	0.126	55.0	45.8	54.1	195.3	9.1

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

太古の風化貝～40kg 堆肥～2,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基肥～N S 2 6 2 (12 - 16 - 12) 5月22日 全層施肥
分肥～S 4 4 4 (14 - 4 - 14) 8月5日 9月5日 側条施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基肥	N S 2 6 2 80kg	9.6	12.8	9.6
分肥	S 4 4 4 40kg	5.6	1.6	5.6
合計		15.2	14.4	15.2

4 調査項目

生育調査～播種日・発芽期・発芽率・生育日数

収量調査～全長・生葉数・軟白・全本数・規格内本数・規格内割合
規格内収量・調整率・平均一本重

5 生育調査

項目	品種	元蔵	白妙	金長3号	北の匠
播種日		3月30日			
発芽期		4月6日	4月5日	4月5日	4月5日
発芽率(%)		95.5	92.6	90.2	91.0
生育日数		178日			
全長(cm)		87.8	94.7	93.1	86.5
生葉数(枚)		10.0	10.5	11.0	10.1

6 収量調査

項目	品種	元蔵	白妙	金長3号	北の匠
規格内収量(kg/a)		675	699	707	700
調整率(%)		42.9	43.4	44.4	43.1
平均一本重(g)		241	270	263	280
軟白(cm)		33.4	32.2	32.8	29.2
規格内(本/a)		2,800	2,588	2,688	2,500
規格内割合(%)	3L(4~5本/kg当たり)	95	100	100	100
	2L(6~8本/kg当たり)	5	0	0	0
	L(9~11本/kg当たり)	0	0	0	0

7 病害虫防除履歴

殺虫剤			殺菌剤		
6月8日	VC乳剤	2,000倍	8月20日	アミスター20フロアブル	2,000倍
6月28日	エルサン乳剤	1,000倍	9月21日	ダコニール1000	1,000倍
8月6日	オルトラン水和剤	1,000倍			
8月20日	エルサン乳剤	1,000倍			
9月21日	アディオオン乳剤	3,000倍			

8 試験結果概要

(1) 生育経過

育苗は3月30日ハウス内に直播をした。発芽は4月5日に白妙・金長3号・北の匠で、1日遅れて元蔵となり、各品種とも90%以上の発芽率となった。

(2) 収量調査結果

- ① 全長調査では、白妙が94.7cmと最も長く、次に金長3号>元蔵>北の匠という結果となった。
- ② 規格内収量では金長3号が707kg/aと最も多く、続いて北の匠が700kg/a、白妙 699kg/a、北の匠 675kg/aとなり、調整率では、元蔵が一番低く42.9%、北の匠 43.1%<白妙 43.4%<金長3号 44.4%であった。

(3) 考察

金長3号は、規格内収量も多く、軟白部も長く、規格内割合も良いため期待品種と思われる。また、他の品種についても規格内割合ですべてが3L規格で優れているため、次年度も継続して試験を行いたい。